

「小だけ」「頼んだ時だけ」じゃダメ
“しているつもり”の男性のオムツ交換、女性は認めていない!
 ～紙オムツは超優秀。でも、オムツ交換の環境は発展途上なのが日本の現状～

株式会社プラネット(所在地:東京都港区、代表取締役社長:田上正勝)は、消費財にまつわるトピックスをお届けする「Fromプラネット」の第16号として、ベビー用オムツに関する意識調査の結果をご紹介します。

■ベビー用紙オムツには、価格も使用感も重視するシビアなユーザー多し

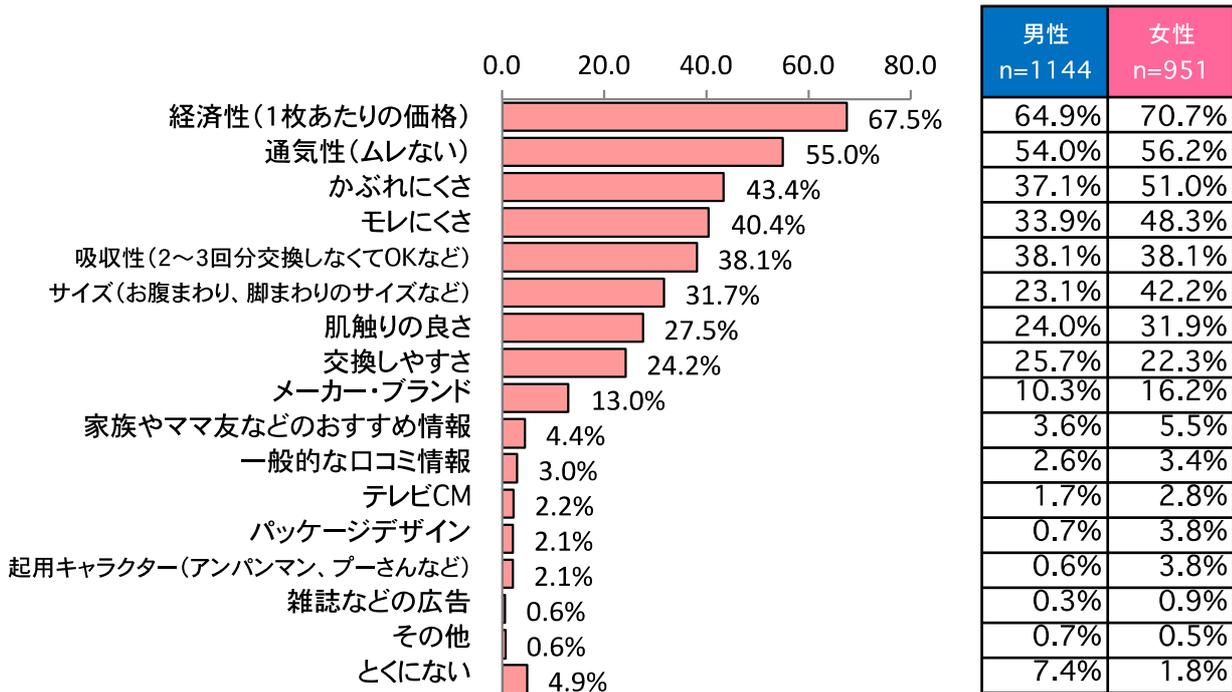


表 1:「紙オムツ」を買う際に重視している(した)点はなんですか?についての回答

出典:インターワイヤード株式会社が運営するネットリサーチ『DIMSDRIVE』実施のアンケート「ベビー用オムツ」。
 調査期間:2015年6月5日~6月19日、DIMSDRIVE モニター2,893人が回答。表2・エピソードの出典も同アンケートです。

常に国会論戦の火種になっている、日本の少子化問題。2005年に出生率が過去最低の1.26人に落ち込んでからというもの、減少傾向は続いています(※)。待機児童やマタニティハラスメントなどの問題も深刻で、“子どもを産みにくく、育てにくい国”からの脱却へ、いよいよ真剣に取り組まなければならない時が来ています。

そこで今回は、育児の必需品「ベビー用オムツ」について調査をしました。中国人観光客の“爆買い”アイテムとしても取り上げられている日本の紙オムツ。質が良いと言われますが、消費者はどんな基準やこだわりをもって購入しているのでしょうか。日本のベビー用オムツ事情を分析します。

まずは、紙オムツを買う際に重視している点について聞いてみました。最も多かった回答は、「経済性(1枚あたりの価格)」で67.5%でした。使い捨てする消費材は、少しでも安く購入したいと思うのは当然の消費者心理でしょう。次いで「通気性(ムレない)」55.0%、「かぶれにくさ」43.4%、「モレにくさ」40.4%という回答が得られました。

この回答から、価格が安いのは当たり前で、品質も良いものでなければ納得できないという厳しい視点が浮き彫りになりました。世界の先進国やアジア圏で、日本の紙オムツは非常に好評です。赤ちゃんへのやさしさを求めるママの声を、メーカーが誠実にカタチにしている日本の紙オムツ。世界に誇れる“クールジャパン”商品と言えるかもしれません。

※内閣府「平成27年版 少子化社会対策白書」より

■パンツタイプが主流の売れ筋ランキング

ベビー用オムツ販売数ランキング

(直近3カ月、2015/7/3調べ)

順位	商品名	購入個数 構成比	リピート率
1	メリーズ パンツ のびのびWALKER L 42枚	6.43%	40.63%
2	パンパース フィットパンツスーパージャンボL 44枚	5.83%	40.47%
3	メリーズ パンツ のびのびWALKER ビッグ 36枚	5.38%	42.91%
4	マミーポコパンツ L 44枚	4.57%	31.08%
5	メリーズ さらさらエアスルー L 54枚	4.33%	62.56%
6	メリーズ さらさらエアスルー M 64枚	4.14%	56.39%
7	マミーポコパンツ B 38枚	3.57%	28.72%
8	メリーズ さらさらエアスルー S 80枚	2.97%	48.13%
9	ネピア GENKII!パンツ Lサイズ 44枚	2.91%	35.57%
10	パンパース コットンパンツスーパージャンボM 58枚	2.83%	37.55%

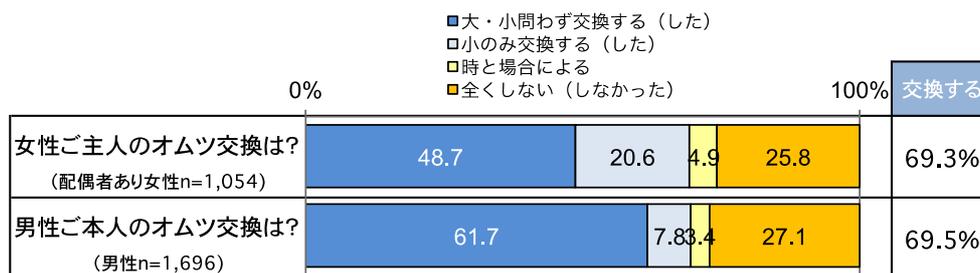
(C) ウレコン powered by TRUE DATA

注:ウレコンとは、カスタマー・コミュニケーションズ株式会社が全国のドラッグストア、食品スーパーあわせて約850万人の購買履歴および個人を特定しない性別・年齢等の消費者属性情報を市場インデックスデータに加工した情報をランキングとともに紹介するサービスであり、<https://urecon.jp>にて提供されます。

では、どんな商品が実際に売れているのかみてみましょう。5位、6位、8位以外は、パンツタイプの商品がランクインしています。パンツタイプは、1枚あたりのコストは割高ですが、履かせやすく、体にフィットするため赤ちゃんがスッキリ見えるなどの理由から、ママからの支持を集めています。

一方、テープタイプはコスバがいいので根強く人気です。特に、ランキングに入っている商品は、上記のアンケートで回答の多かった「通気性の良さ」をうたっていることから、支持が高いのではないかと推測されます。

■女性は認めていないけれど、男性はオムツ交換をしてるつもり!?



【時と場合による】と回答した人の自由回答例

▼女性の回答

- ・頼んだ時だけ。
- ・留守番で誰も居ない時
- ・私の手が放せない場合
- ・気分次第で小のほうは変えてくれた。大の時は代わってくれと弱音を吐いていた
- ・基本小のみ

・・・など

▼男性の回答

- ・妻から依頼があった時
- ・妻のいない時
- ・配偶者が入院した
- ・大は必ずしたが、小は2から3回
- ・40年以上前のことで忘れた

・・・など

表 2:「あなたご自身は、オムツの交換をします(しました)か」についての回答

やっているとはいえない」という認識なのではないかと推測できます。女性は、男性の育児協力へ厳しい目を持っているのかもしれない。

次に、オムツ交換についての意識調査をしてみました。「自分でオムツ交換をしますか(しましたか)」と質問すると、オムツ交換について男女で認識の違いが大きいという興味深い結果が得られました。

まずは、女性に「ご主人はオムツ交換をしますか(しましたか)?」と質問すると、「大・小問わず交換する(した)」と答えた人が48.7%。次に、男性に「自分でオムツ交換しますか(しましたか)?」と聞くと「交換する(した)」と答えた人が61.7%という結果になりました。

この結果から、恐らく、男性はしているつもりでも、女性から見ると「頼まれた時だけするのは、やっているとは言えない」「小のみの交換は、

■ 場所がない! 外出先でのオムツ交換環境は、まだまだ整備不足

家ではスムーズにできるオムツ交換ですが、いざ外出先となると、途端に不便になるもの。出先でのオムツ交換について、困っていることを聞きました。

「出先でオムツを交換する際に困ったことを教えてください」についての回答

- 外出先で交換するスペースを見つけるのが大変。
- いつもオムツを余分に持って外出していたので、荷物が多くなってしまった。
- オムツが足りなくなって、代わりに自分のナプキンを使ったことがあった。
- オムツを変えられる場所はあっても「オムツはお持ち帰りください」という所が結構ある。
特に夏場は臭わないか気になる。
- 交換中に手荷物を置いておく場所がないのと、交換台が不衛生なこと。
- デパートなどでトイレが混んでいた時。早く交換してあげたいし、臭いとか人目が気になってしまった。
- パンツタイプのオムツを交換する時、脱がせる時は横を破けば良いので簡単だが、履かせる時は靴やズボンを脱がせて履き直して…の必要があり、狭い個室でやるのが大変だった。
- 子どもが交換台の安全ベルトを抜け出そうとして暴れることがあった。
- 環境が変わるとなかなか替えさせてくれなかった。
- 多目的トイレで交換していたら、車いすの方にドアをドンドンと叩かれて怖かった。
- おしりふきが足りなくなってしまった。

最も多かったのは「交換する場所がない」という回答。最近では、オムツ替えシートを備えているトイレも増えてはいますが、シートのサイズが小さい、シートが不衛生といった問題点も……。外出先で困らないために、使いやすいオムツ替えシートがどの施設にあるのか、詳細に把握しているママも多いのだそうです。また、「使用済みのオムツを持ち帰る道中、臭わないかと心配になる」など、交換したオムツを処理できなくて困ったという意見も多くみられました。

アンケートから、赤ちゃんを連れての外出には、事前のリサーチや準備が不可欠だということがわかりました。日本のオムツ替えの環境は、整えるべき点や問題点が多そうです。

■ 目からうろこの、紙オムツの意外な使い道

どんどん成長する赤ちゃん。オムツのサイズが合わなくなって、まとめ買いをしていたものが使えなくなってしまった……。こんな経験をしたことはありませんか？そこで、未使用のオムツの意外な使い方を聞いてみました。

「オムツの意外な使い道があったら教えてください」についての回答

- 余ったおむつを使って古い油を吸わせた。
- 災害時のトイレとして使用できると思い、備蓄していた。
- トイレが並んでしまってる花火大会で、我慢できそうにないのでトイレの横でオムツに向かって排尿させた。
- 老人の足先の保温。
- 子どもが牛乳をこぼしてしまった時、ぞうきんだと臭くなるので、オムツを使ったら吸収性も抜群だった。
- 梱包のクッション材。
- 犬用の介護パンツに転用した。
- 床のほこりとり。
- 布おむつは使用しなくなってから小さく切って掃除に使った。
- 紙おむつは洗ったスニーカーの中に吸収面を表にして入れると早く乾く。

…など

「古い油を吸わせた」や「牛乳をこぼした時、ぞうきん代わりに使った」といった、紙オムツの吸水力を活用した回答が目立ちました。赤ちゃん用オムツの給水力は、1枚あたり平均で1.2リットルと言われるほど強力です。大きなサイズのものならば、災害時、大人用トイレの代用品にもなるかもしれません。ほかに、「洗ったスニーカーの乾燥に使う」や「老人の足先の保温に使う」という、高度な二次利用法をする人もいました。

紙オムツのその優秀な給水力に注目すると、新たな利用方法が発見できるのかもしれないですね。

■ 共感できる？ できない？ みんなの子育てで成長したこと、失敗したこと

最後に、子育てを通して自身が成長したことと、失敗談を聞いてみました。とても興味深い、各人各様の子育て体験談です。

「子育てを通じて、ご自身が成長したなと思うところがありますか」についての回答

- 結果を待てるようになった。
- 忍耐力・包容力が培われた。
- 他人を見守ることを教えてくれた。
- 多少のことなら動じなくなった。
- 考え方が柔軟になった。
- 規則正しい生活をするようになったし、食事の栄養について考えるようになった。
- 会社で部下を育てる時に、自分の子供と同じような気持ちで部下に接しながら育てていくことができるようになったこと。
…など

「子育ての失敗談があれば教えてください」についての回答

- マザコンに育てるつもりが、“母より彼女”の普通の男になってしまった。
- 当たり前だと思っていたことが、甘やかしだった。
- 第一子に小言を言い過ぎた。
- 子供の発想が面白くて否定せずに育てたら、天然な娘に育ってしまって娘から怒られた。
- 嫌いなものを無理に食べさせなかったせいか、ほんとに好き嫌いの多い子になってしまった。
彼の人生で「美味しいな」と思って食べる機会が減ってしまい、かわいそうに思う。
- 子供をやる気にさせるため「これが出来たらおもちゃを買ってあげる」とご褒美をつけてたら、ご褒美なしではやってくれなくなった。
…など

子育てをして成長したことの回答で多かったのは、「忍耐力・包容力が培われた」という回答。どんなこともスムーズにいかない赤ちゃん向き合う時間は、我慢の連続。「他人を見守ることを教えてくれた」「考え方が柔軟になった」など、子育てを通じて養われたことが自身の仕事に役立っているという人もいました。

失敗談を聞くと、「厳しくすぎた」「甘やかしすぎた」と両極端の意見が寄せられました。長子に厳しくした反動で、下の子は甘やかしてしまったなど、理想と現実のバランスを上手く調整できない、子育ての難しさが回答から伝わってきました。

ベビー用オムツの現状はいかがでしたか？ 質も価格も優秀な日本製のベビー用オムツ。それぞれの商品の長所を把握して上手く活用できれば、オムツを卒業するその日まで、赤ちゃんも親もハッピーに過ごせるのではないのでしょうか。

株式会社プラネットとは

メーカー、卸売業、小売業がサプライチェーンとして連携し、生活者へのサービス向上を目指して進化を続ける日本の消費財流通を、情報インフラとしてサポートしている企業です。

From プラネットとは

消費財流通における業務効率化を支えるEDI(電子データ交換)やデータベースサービスを提供する株式会社プラネット(東証JASDAQ上場、証券コード:2391)をご紹介します。旬の消費財にまつわるトピックスです。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社プラネット 管理本部 経営企画部 (小中、岡田)
Tel : 03-5962-0811 / E-mail : keiei@planet-van.co.jp